

## 規則

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成二十三年四月五日

埼玉県知事 上 田 清 司

### 埼玉県規則第二十八号

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則の一部を改正する規則

ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則（昭和五十四年埼玉県規則第七十二号）の一部を次のように改正する。

第十一条中「たい積」を「堆積」に改める。

第十三条第三号中「第十三条第三項及び第二十六条第一項」を「第二十条第三項及び第三十二条第一項」に改める。

第十四条第一号イ中「こう配」を「勾配」に改め、同号ロ中「防護柵、土留よう壁」を「防護柵、土留擁壁」に改める。

第十五条中「第十二条第三項」の下に、「（条例第二十九条第四項において準用する場合を含む。）」を加える。

第二十五条中「第二十六条」を「第二十六条第一項（条例第二十六条の二において準用する場合を含む。次条第一項及び第二十七条第一項第一号において同じ。）」に改め、同条第二号中「（）」については、その十分の五」を「第二十七条第一項第二号及び第三号口において同じ。」は、その延長の十分の五に相当する長さ又は接道部から出入口を控除した長さ」に、「が緑化を行う敷地の区域の境界線に含まれる」を「について緑化を行う」に改め、同条第三号中「ものとし、」の下に「樹木の植栽により緑化を行う」を加える。

第二十六条第一項中「第二十六条」を「第二十六条第一項」に改め、同条第二項中「第六条第一項」の下に「若しくは第六条の二第一項」を加え、「申請書の提出前」を「申請前又は同法第十八条第二項の規定による通知前」に改める。

第二十九条を第三十条とし、第二十八条の表に次のように加え、同条を第二十九条とする。

川口市、所沢市、春日部市、草加市、第二十六条の二並びに第二十六条、第二十条、越谷市、朝霞市、和光市、新座市、七条、第二十八条第一項、第二十九条、第八潮市、三郷市、吉川市及びびじみ野市	第三十条及び第三十一条（第二十六条の二に係るものに限る。）
---	-------------------------------

第二十七条中「様式第八号」を「様式第九号」に改め、同条を第二十八条とし、第二十六条の次に次の一条を加える。

(緑化計画変更届出書)

第二十七条 条例第二十六条第二項(条例第二十六条の二において準用する場合を含む。次項において同じ。)の規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

一 条例第二十六条第一項の規定による届出をした者の氏名又は住所(法人にあつては、その名称又は主たる事務所の所在地)

二 敷地面積又は接道部の長さ

三 次に掲げる事項のうち、条例第二十七条第一項の規定による緑化計画の認定に影響を及ぼす事項

イ 緑化面積

ロ 接道部における緑化の長さ

ハ 樹木の植栽により緑化を行う敷地における成木の高さが通常二・五メートル以上の樹木の本数

2 条例第二十六条第二項の規定による変更の届出は、様式第八号の届出書を提出して行わなければならない。

別表第一行為の種類欄中「たい積」を「堆積」に改める。

別表第二用途地域が定められている区域の項中「籬」「樹」を「籬」「樹」に改め、同表の備考第三号中「建ぺい率」を「遮蔽率」に改め、同号を同表の備考第五号とし、同表の備考第二号中「一体利用される」を「一体的に利用される」に改め、同号を同表の備考第三号とし、同号の次に次の一号を加える。

四 消防法その他の法令により緑化を行うことができない区域が存する場合は、敷地の面積から当該区域の面積を控除することができる。

別表第二備考第一号の次に次の一号を加える。

二 都市計画法第十二条の五第一項第二号の規定により地区計画が定められている区域は、用途地域が定められている区域とみなす。

別表第三樹木の植栽の項中「区域の面積」の下に、「当該区域を超えて樹冠で覆われた部分が存する場合には、当該部分の水平投影面積を加えることができる。」を加え、同表芝その他の地被植物の植栽の項中「芝」の下に、「コケ」を、「地被植物」の下に、「又は多肉植物」を加え、「被われ」を「覆われ」に改め、「部分」の下に、「その水平投影面が樹木の植栽による水平投影面と一致する部分を除く。」を加え、同表コケ類又は多肉植物類の植栽(建築物上の緑化に限る。)の項及びツル植物の植栽(建築物の外壁上の緑化に限る。)の項を次のように改める。

<p>草花その他これに類する植物の植栽</p>	<p>花壇その他これに類するものうち、草花その他これに類する植物が生育するための土壌で表面が覆われている部分（その水平投影面が樹木の植栽又は芝、コケその他の地被植物若しくは多肉植物の植栽による水平投影面と一致する部分を除く。）の面積に〇・九を乗じて得た面積（樹木の植栽により算出した緑化面積の合計の四分の一を超えない部分に限る。）</p>
<p>ツル植物の植栽（壁面の緑化に限る。）</p>	<p>イ 建築物の外壁に緑化のための補助資材が整備されている場合は、当該補助資材で覆われている面積に〇・九を乗じて得た面積      ロ イに掲げる場合以外の場合は、壁面の直立部分の水平投影の長さの合計に一メートルを乗じて得た面積に〇・九を乗じて得た面積</p>

様式第三号中「あて先」を「宛先」に、「たい積」を「堆積」に、「かわらぶき」を「瓦ぶき」に、「しつくい塗」を「漆くい塗」に変更。

様式第二号（裏面）中「第2項」の次に「並びに第29条第3項」を加え、同様は（裏面）中「第2項の規定による権限は、犯罪捜査のために認められたもの」と解釈してはならない。

「4 第2項の規定による権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

第29条

と 3 知事は、緑化完了報告に関する緑化の状況の確認のため必要があるときは、その職員に、当該緑化完了報告に係る敷地又は建築物に立ち入らせることができる。

4 第12条第3項及び第4項の規定は、前項の規定による立入りについて準用する。

改める。

様式第三号から様式第六号までの規定中「あて先」を「宛先」に変更。

様式第七号及び様式第八号を次のように改める。

緑化計画届出書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

住所

氏名

印

(法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

電話番号

次のとおり緑化計画を作成したので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第26条第1項の規定により、届け出ます。

工 事 種 別	
建 築 物 の 用 途	
敷 地 の 所 在 地	

緑化着工予定日	緑化完了予定日
年 月 日	年 月 日

用途地域等	建蔽率
1 用途地域等 ( ) 2 その他の区域	1 あり ( % ) 2 なし

敷地面積(全体)
S m <sup>2</sup>

接道部の長さ
L m

樹木の植栽面積
敷地地上部において樹木による緑化を行う面積 (別紙2の緑化面積等計算表の )
T' m <sup>2</sup>

法令による緑化除外面積
S' m <sup>2</sup>

接道部における出入口の長さ
L' m

(緑化面積の基準算定式)

1 用途域内

$$a = (S - S') \times (1 - \text{建蔽率}) \times 0.5$$

2 その他の区域

$$a = (S - S') \times 0.25$$

(接道部緑化の基準算定式)

$$l = (L \times 0.5) \text{ 又は } (L - L')$$

いずれか小さい値

(高木植栽本数の基準算定式)

$$t = T' / 20 \text{ m}^2$$

基 準	緑化を要する面積	緑化を要する接道部の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	a m <sup>2</sup>	l m	t 本

A a、L 1 ≥ l、T tとなるようにすること。

計 画	緑化面積(A 1 + A 2)	接道部の緑化の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	A m <sup>2</sup>	L 1 m	T 本

(別紙1の緑化計画内容一覧表の敷地の緑化面積「A 1」+建築物上の緑化面積「A 2」)

注

- 位置図(行為地又は建築物等の位置図及び方位を示すもの)、緑化計画平面図(建築物上の緑化も含む。)、緑化計画断面図(壁面の緑化や駐車場の緑化を行う場合)及び建築物立面図(2面以上の緑化を行う場合)を添付すること。
- 消防法その他の法令により緑化を行うことができない区域の面積(S')が存する場合には、平面図に明示するとともに根拠法令を示すこと。
- 接道部の長さ(延長)、出入口の長さ及び接道部の緑化の長さについては、平面図に明示すること。
- 高木となる樹木とは、成木の高さが通常2.5m以上となる樹木をいう。

緑化計画内容一覧表

敷地	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本				
2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本				
1.0 m未満	E	既存 新規	本 本				
樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数 うち成木時の高さ 2.5 m以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表 ( T ))			本 本			
緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
敷地	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名		
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
新規 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>						
緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1 ( + )				m <sup>2</sup>		
建築物上	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
		4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本		
		2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本		
		1.0 m未満	E	既存 新規	本 本		
		樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数			本	
		緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>	
	建築物上	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名	
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>
			合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2 ( + )			
緑化面積の合計 ( A 1 + A 2 )					A m <sup>2</sup>		

面積については、小数点以下第 2 位 (第 3 位切捨て) までを記入すること。

緑化面積等計算表

1 緑化面積  
敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満

2 緑化面積は、「植栽区画面積 1.8B + 1.0C + 4D + E」の式を満たすものであること(において同じ。)

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計				

敷地計(m<sup>2</sup>) A 1 +

建築物上

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
	計				

建築物上計(m<sup>2</sup>) A 2 +

注

1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位(第3位切捨て)まで記入すること。

2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおり」などと示すこと。

3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が の緑化面積の4分の1以内となつていることを確認すること。

2 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 ( $m^2$ )	成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数(本)	成木時の高さ2.5 m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- 1 緑化面積は、前頁の「1 緑化面積」中の「敷地【樹木】」と一致させること。
- 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行った箇所が高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

3 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における緑化の長さ(m)	備考
計		L 1	

緑化計画変更届出書

年 月 日

( 宛先 )

埼玉県知事

住所

氏名

( 法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名 )

電話番号

年 月 日付けで届け出た緑化計画について次のとおり変更したいので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第 2 6 条第 2 項の規定により届け出ます。

1 変更箇所 ( 該当する箇所に  を記入すること。 )

届出者の変更

敷地面積又は接道部の長さの変更

緑化方法 ( )

( ) 内に緑化面積、接道部の緑化、高木植栽のうち、変更に係るものを記入すること。

2 変更内容

( 1 ) 届出者の変更

変更前		変更後	
住 所 :		住 所 :	
氏 名 :		氏 名 :	
( 法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称 )		( 法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称 )	

( 2 ) 敷地面積、接道部の長さ

敷地面積 ( 全体 )		
S	( 変更前 )	( 変更後 )
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

接道部の長さ		
L	( 変更前 )	( 変更後 )
	m	m

樹木の植栽面積		
敷地地上部において樹木による緑化を行う面積 ( 別紙 2 の緑化面積等計算表の )		
T'	( 変更前 )	( 変更後 )
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

法令による緑化除外面積		
S'	( 変更前 )	( 変更後 )
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

接道部における出入口の長さ		
L'	( 変更前 )	( 変更後 )
	m	m

( 緑化面積の基準算定式 )

1 用途地域内

$$a = ( S - S' ) \times ( 1 - \text{建蔽率} ) \times 0.5$$

2 その他の区域

$$a = ( S - S' ) \times 0.25$$

( 接道部緑化の基準算定式 )

$$l = ( L \times 0.5 ) \text{ 又は } ( L - L' )$$

いずれか小さい値

( 高木植栽本数の基準算定式 )

$$t = T' / 2.0$$

( 3 ) 緑化方法の変更

基準	緑化を要する面積		緑化を要する接道部の長さ		高木となる樹木の植栽本数	
	a	( 変更前 ) ( 変更後 )	l	( 変更前 ) ( 変更後 )	t	( 変更前 ) ( 変更後 )
		m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>		m m		本 本
計画	緑化面積 ( A1 + A2 )		接道部の緑化の長さ		高木となる樹木の植栽本数	
	A	( 変更前 ) ( 変更後 )	L1	( 変更前 ) ( 変更後 )	T	( 変更前 ) ( 変更後 )
		m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>		m m		本 本

注 ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例施行規則第 2 7 条第 1 項第 2 号又は第 3 号 ( 「 2 変更内容 」 の ( 2 ) ) に該当する計画変更の場合には、変更後の計画を全て記入すること。

また、当初届出をした図面の内容に変更が生ずる場合は、変更後の図面を添付すること。

緑化計画内容一覧表

敷地	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本				
2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本				
1.0 m未満	E	既存 新規	本 本				
樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数 うち成木時の高さ 2.5 m 以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表 ( T ))			本 本			
緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
敷地	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名		
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1 ( + )				m <sup>2</sup>		
建築物上	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
		4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本		
		2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本		
		1.0 m未満	E	既存 新規	本 本		
		樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数			本	
		緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>	
	建築物上	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名	
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			緑化面積 ( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>
			合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2 ( + )			
緑化面積の合計 ( A 1 + A 2 )					A m <sup>2</sup>		

面積については、小数点以下第 2 位 ( 第 3 位切捨て ) までを記入すること。

緑化面積等計算表

1 緑化面積  
敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満

2 緑化面積は、「植栽区画面積 1.8B + 1.0C + 4D + E」の式を満たすものであること(において同じ。)

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計				

敷地計(m<sup>2</sup>) A 1 +

建築物上

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
	計				

建築物上計(m<sup>2</sup>) A 2 +

注

1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位(第3位切捨て)まで記入すること。

2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおり」などと示すこと。

3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が の緑化面積の4分の1以内となつていることを確認すること。

2 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 ( $m^2$ )	成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数(本)	成木時の高さ2.5 m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- 1 緑化面積は、前頁の「1 緑化面積」中の「敷地【樹木】」と一致させること。
- 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行った箇所が高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

3 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における緑化の長さ(m)	備考
計		L1	

様式第八号の次に次の様式を加える。

緑化完了報告書

年 月 日

(宛先)

埼玉県知事

住所

氏名

印

(法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名)

電話番号

年 月 日付け( 年 月 日付け変更)で届け出た緑化計画に係る緑化が完了したので、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例第29条第1項の規定により、次のとおり報告します。

工 事 種 別	
建 築 物 の 用 途	
敷 地 の 所 在 地	

緑化着工予定日	緑化完了予定日
年 月 日	年 月 日

用途地域等	建蔽率
1 用途地域等( ) 2 その他の区域	1 あり( %) 2 なし

敷地面積(全体) S m <sup>2</sup>	接道部の長さ L m	樹木の植栽面積 敷地地上部において樹木による緑化を行う面積 (別紙2の緑化面積等計算表の ) T' m <sup>2</sup>
法令による緑化除外面積 S' m <sup>2</sup>	接道部における出入口の長さ L' m	

(緑化面積の基準算定式)

1 用途地域内

$$a = (S - S') \times (1 - \text{建蔽率}) \times 0.5$$

2 その他の区域

$$a = (S - S') \times 0.25$$

(接道部緑化の基準算定式)

$$l = (L \times 0.5) \text{ 又は } (L - L')$$

いずれか小さい値

(高木植栽本数の基準算定式)

$$t = T' / 20 \text{ m}^2$$

基準	緑化を要する面積	緑化を要する接道部の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	a m <sup>2</sup>	l m	t 本

A a、L 1 ≥ l、T tとなるようにすること。

計画	緑化面積(A 1 + A 2)	接道部の緑化の長さ	高木となる樹木の植栽本数
	A m <sup>2</sup>	L 1 m	T 本

(別紙1の緑化完了内容一覧表の敷地の緑化面積「A 1」+建築物上の緑化面積「A 2」)

注 緑化計画届出書(緑化計画変更届出書)の内容と実績が異なる場合には、位置図(行為地又は建築物等の位置図及び方位を示すもの)、緑化完了平面図(建築物上の緑化も含む。)、緑化完了断面図(壁面の緑化や駐車場の緑化を行った場合)及び建築物立面図(建築物上の緑化を行った場合)を添付すること。

緑化完了内容一覧表

敷地	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本				
2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本				
1.0 m未満	E	既存 新規	本 本				
樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数 うち成木時の高さ 2.5 m 以上の樹木本数 (別紙 2 の緑化面積等計算表( T ))			本 本			
緑化面積( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
敷地	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名		
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
		既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>			
		新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>			
緑化面積( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>			
合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 1 ( + )				m <sup>2</sup>		
建築物上	樹木 植栽時の樹高で分類	高さ(植栽時)	植栽本数		植物名		
		4.0 m以上	B	既存 新規	本 本		
		4.0 m未満 2.5 m以上	C	既存 新規	本 本		
		2.5 m未満 1.0 m以上	D	既存 新規	本 本		
		1.0 m未満	E	既存 新規	本 本		
		樹木本数計	( B + C + D + E ) の合計本数			本	
		緑化面積( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>	
	建築物上	その他	植栽面積(ア)	(イ)	緑化面積(ア×イ)	植物名	
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			既存 m <sup>2</sup>	0.9	m <sup>2</sup>		
			新規 m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		
			緑化面積( )	(別紙 2 の緑化面積等計算表の と一致)			m <sup>2</sup>
			合計	別紙 2 の緑化面積等計算表の A 2 ( + )			
緑化面積の合計 ( A 1 + A 2 )					A m <sup>2</sup>		

面積については、小数点以下第 2 位 (第 3 位切捨て) までを記入すること。

## 緑化面積等計算表

## 1 緑化面積

## 敷地

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

1 Bは4m以上、Cは2.5m以上4m未満、Dは1m以上2.5m未満、Eは1m未満

2 緑化面積は、「植栽区画面積 1.8B + 1.0C + 4D + E」の式を満たすものであること(において同じ。)

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
			0.9		
	計				

敷地計(m<sup>2</sup>) A 1

+

## 建築物上

【樹木】(植栽本数欄は植栽時(既存樹木は計画書作成時)の樹高で分類)

番号	植栽区画面積		植栽本数 (本)				1.8B + 1.0C + 4D + E の値 (m <sup>2</sup> )	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	備考
	計算式	実面積 (m <sup>2</sup> )	B	C	D	E			
	計								

【その他】

番号	計算式	植栽面積(m <sup>2</sup> ) (ア)	(イ)	緑化面積(m <sup>2</sup> ) (ア×イ)	備考
			0.9		
			0.9		
	計				

建築物上計(m<sup>2</sup>) A 2

+

## 注

1 実面積は図面と整合させ、小数点以下第2位(第3位切捨て)まで記入すること。

2 CADによる面積算出の場合には、計算式欄に「CAD算出」と記入し、面積算出を図面に示している場合は計算式欄に「別添図面のとおり」などと示すこと。

3 花壇等の場合には、その緑化面積の合計が の緑化面積の4分の1以内となっていることを確認すること。

2 樹木の植栽による緑化を行う敷地における緑化面積のうち、成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数

番号	緑化面積 (m <sup>2</sup> )	成木時の高さが2.5 m以上となる樹木の本数(本)	成木時の高さ2.5 m以上となる樹木の植物名	備考
計		T		

- 1 緑化面積は、前頁の「1 緑化面積」中の「敷地【樹木】」と一致させること。
- 2 敷地における樹木の植栽による緑化を行った箇所が高木がない場合も、緑化面積部分は記入すること。

3 接道部における緑化の長さ

番号	計算式	接道部における緑化の長さ(m)	備考
計		L 1	

## 附 則

- 1 この規則は、平成二十四年四月一日から施行する。ただし、第十三条第三号の改正規定は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の第二十五条、別表第二及び別表第三の規定は、この規則の施行の日以後に建築基準法（昭和二十五年法律第二百一号）第六条第一項若しくは第六条の二第一項の規定による確認の申請又は同法第十八条第二項の規定による通知がされた建築物について新築、増築、改築又は移転を行おうとする者について適用し、その他の者については、なお従前の例による。